

令和8年度
シラバス

教科・科目	外国語・論理・表現 I	単位数	2
-------	-------------	-----	---

学年・クラス	3学年 (必修 ・ 選択)	担当者	江藤 淳哉
使用教科書	Revised EARTHRISE English Logic and Expression Standard I (数研出版)		
使用副教材	EARTHRISE English and Expression Standard I ワークブック (数研出版) Next Stage 英文法・語法問題[4th Edition] 入試英語頻出ポイント 218 の征服(桐原書店)		

目 標

1. さまざまな言語活動に取り組むことを通して、基礎的な知識を定着し、主体的に活用する力を身につけます。
2. 英語を話したり書いたりすることを通して、論理の構成や展開を学び、論理的に情報を発信する力を身につけます。
3. 英語で読んだり聞いたりすることを通して、情報を論理的に整理したり、多様な考えを理解しようとする力を身につけます。

授業の内容・進め方

授業の内容: 書くことや話すことを中心に、コミュニケーションに必要な発信力を身につけます。
進め方: 教科書とワークシートを主に授業を進めます。紙資料とデジタル資料の両方を活用します。
授業に必要なものは、**教科書・各自の ICT 端末**です。
考 査: 単元の終了後、ペーパーテストやパフォーマンステストで学習内容の習熟度合いを図ります。
留 意 点: ペアやグループでの学習を基本に授業を進行します。

評価規準(観点別達成目標・評価項目)

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	【知識】 外国語の音声や語彙、表現、文法、文化などについて理解を深めている。 【技能】 外国語に関わる知識を実際のコミュニケーションにおいて適切に活用している。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況、話題などに応じて、外国語で適切に理解したり表現したりしている。 ・幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	身の回りの事象や世界の文化に関する理解を深め、聞き手、読み手、話して、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を活用しようとしている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	ワークシート	△	◎	◎
	小テスト	◎	△	○
	課題(週末・長期休み)	○	○	◎
	単元テスト	◎	◎	△
	パフォーマンステスト	◎	◎	◎

- ・観点別評価 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。
A: 十分満足できる B: おおむね満足できる C: 努力を要する
- ・評価・評定 観点別評価から総合的に成績(評価・評定)を決定する。

指導計画及び身につける力

次の4つのステージで英語の力を身につけていきます。

- ①自分自身のことや既に知っていることをわかりやすく伝える
- ②情報を集め、整理した内容をわかりやすく伝える
- ③身近な話題について自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりするなどやりとりする
- ④社会的な話題やある程度専門的な話題について、情報を集めて整理し、考えをやりとりする

学期	ステージ	月	単元	学習内容	身につける力			
					聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
前期	①	4	LESSON1	◎事物の紹介 文型 時制 助動詞	事物の紹介を聞いて、概要をつかんだり、情報を整理したりすることができる。	事物の紹介をしている文章を読んで、概要や詳細をつかむことができる。	人や物についてその特徴や情報を順序立てて話すことができる。	事物の紹介をその特徴や情報を順序立て、適切な表現を用いて書くことができる。
		5	LESSON2					
6	LESSON3							
	LESSON4							
	LESSON5							
	LESSON6							
	LESSON7							
	②	7	LESSON8	◎情報の整理と伝達 受動態 分詞 関係代名詞 関係副詞 無生物主語	紹介や報告を聞いて、その概要や詳細を必要に応じて整理することができる。	紹介や報告を読んでも、その概要や詳細を必要に応じて整理することができる。	聞いたり読んだりした情報を状況に合わせて再構成し、わかりやすく伝えることができる。	聞いたり読んだりした情報を状況に合わせて再構成し、わかりやすく書くことができる。
		8	LESSON12					
9	LESSON14							
	LESSON15							
	LESSON20							
後期	③	10	LESSON9	◎意見のやりとり 不定詞 動名詞 比較	身近な話題についての意見文や他者の意見を聞いて、意見文の構造を理解して要旨をつかむことができる。	身近な話題についての意見文や他者の意見を読んで、意見文の構造を理解して要旨をつかむことができる。	意見文の構造や考えを伝えるための表現活用して、自分の意見を伝えることができる。	意見文の構造や考えを伝えるための表現活用して、自分の意見を書くことができる。
		11	LESSON10					
	LESSON11							
	LESSON13							
	④	12	LESSON16	◎意見のやりとり 仮定法過去 仮定法過去完了 接続詞	社会的な話題や専門的についての意見文や他者の意見を聞いて、意見文の構造を理解して要旨をつかむことができる。	社会的な話題や専門的についての意見文や他者の意見を読んで、意見文の構造を理解して要旨をつかむことができる。	意見文の構造や考えを伝えるための表現活用して、自分の意見を伝えることができる。	意見文の構造や考えを伝えるための表現活用して、自分の意見を書くことができる。
1	LESSON17							
	LESSON18							
	LESSON19							